



JAPAN

2023年6月号

'100'

7-ELEVENS

NATIONWIDE BY 2023 IN

CAMBODIA



# Latest Information

2023年06月26日

6月25日GCC(Golden Cambodia Century)の8周年記念祝賀会が盛大に開催されました。来賓として、在香港カンボジア総領事を始めとした多くのVIPのゲストをお迎えしました。GCCのAlex Yu会長は、「本日までのGCCの成功は、地域社会やお客様のご支援によるものです。ご出席いただいたすべてのお客様にあらためてお礼を申し上げますとともに、今後も皆様とともに、より多くの機会を探っていきたいと思っております。」と述べました。



2023年06月08日

東ヨーロッパのジョージアからVIPゲストがGolden Cambodia Century Group (GCC)に訪れました。彼らはGCオールセーマーケットやBorey Nadiプロジェクトに大きな関心を示し、カンボジアと現地のクメール文化について多くを理解してくださいました。「カンボジアの不動産業界の急成長は、国内外の投資家にとって大きなチャンスである」とお言葉をいただきました。





# KHCA - CM2H Latest Information

2023年05月24日

ジョージアからのVIPゲストをお迎えし、カンボジアマイセカンドホーム(CM2H)プノンペンオフィスを訪れ、カンボジアの新しい移住とビジネスチャンスについてより多くの情報を提供しました。ご訪問いただいたVIPの皆様、ありがとうございました。今後ともよろしくお願いたします。



# CAMBODIA

## Latest Information

2023年06月22日

### プノンペン慈善団体、住民に健康診断を無償提供



6月23日、「カンボジアの人々の健康と幸福のために」というスローガンの下、Kampong Speu州の慈善団体St. John Phnom Penhが主催した健康診断キャンペーンにより、少なくとも600人の住民が恩恵を受けました。このキャンペーンは、団体会員のTrish Hume氏によって始められました。Trish Hume氏はオーストラリアからのボランティア教師で募金活動家でもあり、オーストラリア人の家族や友人と共にBaset地区での人道的活動に積極的に参加しています。この検診ではRoomchang Dental Hospitalチームにより、眼科検診と口腔衛生教育、歯科検診といった治療・指導が行われました。

出典：Hundreds benefit from St. John Phnom Penh healthcare drive in Kampong Speu  
<https://www.khmertimeskh.com/501312290/hundreds-benefit-from-st-john-phnom-penh-healthcare-drive-in-kampong-speu/>

2023年6月22日

### カンボジア向け円借款、道路事業など約330億円

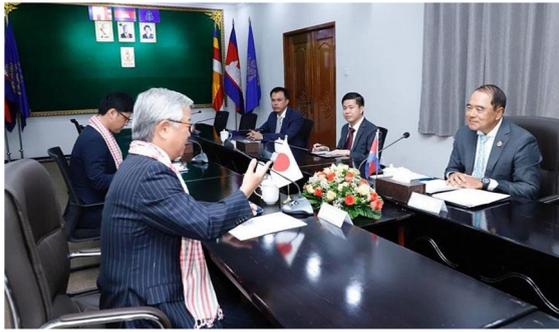


国際協力機構（JICA）は6月22日、プノンペンにてカンボジアに対し3事業計329億7,800万円を限度とする円借款貸付契約に調印しました。借款はそれぞれ国道5号線改修事業に72億500万円、地方道路連結性向上事業に236億9,200万円、シェムリアップ上水道拡張事業に20億8,100万円が使われます。

出典：カンボジア向け円借款貸付契約の調印：南部経済回廊の整備、道路ネットワークの連結性強化及び上水道設備の整備を通じた経済成長を支援  
[https://www.jica.go.jp/information/press/2023/151450\\_2\\_25245.html](https://www.jica.go.jp/information/press/2023/151450_2_25245.html)

2023年6月21日

## 地雷対策庁、プルサット州における地雷除去に関するCMACの支援継続を日本に要請



カンボジア地雷対策庁のLy Thuch上級大臣（第一副庁長）は6月21日、植野篤志駐カンボジア日本大使とカンボジアにおける地雷対策に関するパートナーシップについて会談しました。

上級大臣は、「カンボジア国民はUNTAC時代（1990年～1993年）に国連治安部隊がカンボジアに派遣された際、カンボジアの大義のために2名の日本人が犠牲になったことを含め、日本政府と国民がカンボジアを支援した崇高な功績を決して忘れることはないでしょう」と述べました。

カンボジアでは1993年の内戦終結前に国連平和維持活動に参加した故高田晴行警視と故中田厚仁氏が亡くなっています。

出典： Mine Authority requests Japan to continue supporting CMAC on mine clearance in Pursat province  
<https://www.khmertimeskh.com/501312089/mine-authority-requests-japan-to-continue-supporting-cmac-on-mine-clearance-in-pursat-province/>

2023年06月21日

## カンボジア観光大臣、2023年の外国人観光客を450万人と予想



Thong Khon観光大臣は、2023年5月までに216万人以上の外国人観光客がカンボジアを訪れたことを受け、2023年を通して約450万人の外国人観光客と約1,600万人の国内観光客を受け入れることになると表明しました。2023年5月までに外国人観光客は216万人以上となり2022年の同期間と比較は530%、国内観光客は約1000万人で76.4%の成長率となりました。

出典： Minister of Tourism expects 4.5 million international tourists to visit Cambodia in 2023  
<https://www.khmertimeskh.com/501312022/minister-of-tourism-expects-4-5-million-international-tourists-to-visit-cambodia-in-2023/>

2023年06月21日

## プノンペン日本語のど自慢大会、3年ぶり開催



COVID-19の流行で3年間中断していた、日本語の使用を奨励する毎年恒例の「のどじまん」日本語歌唱コンテストが、6月25日に開催される最終選考会で再開されました。このコンテストでは、参加者が好きな歌を日本語で、ステージで歌うことができます。このコンテストは日本語学習者に音楽を通じて日本語を練習してもらうことを目的に毎年開催されていました。

出典： 'Nodojiman' song contest resumes after 3-year hiatus  
<https://www.khmertimeskh.com/501311678/nodojiman-song-contest-resumes-after-3-year-hiatus/>

2023年6月20日

## カンボジアと日本の医師がクラティエで無料の小児外科手術を実施



出典 : Cambodian and Japanese doctors offer free pediatric surgery in Kratie

<https://www.khmertimeskh.com/501310753/cambodia-n-and-japanese-doctors-offer-free-pediatric-surgery-in-kratie/>

カンボジアの子どもたちに専門的な医療を施すため、ボランティア医師団がクラティエ州を訪れています。

国際開発救援財団（FIDR）のコーディネーターであるVa Anna氏によりますと、国立小児科病院の医師が日本からの医師と協力し、6月27日から29日までクラティエ紹介病院で無料の手術と一般小児科治療を行っているとのこと。

この訪問では、クラティエ紹介病院の医師たちにさらなるトレーニングを提供することも目的としています。クラティエにはすでにFIDRの訓練を受けた小児外科医のチームが存在しています。

2023年06月19日

## 新税法が施行、租税総局が変更点を解説



出典 : 新税法が施行、租税総局が変更点を解説

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2023/06/f0823de54adf98e6.html>

カンボジアで新税法が5月17日に施行となりました。この改正により所得税の適用範囲に協会や政党などが加わったほか、制度認定プロジェクトにおける国内仕入の付加価値税（VAT、日本における消費税）を免除するなどの税制優遇が盛り込まれました。

2023年06月15日

## 2023年の日本カンボジア間貿易、5ヶ月で7億ドルに迫る



出典 : Cambodia, Japan bilateral trade nears \$700 million in the first five months

<https://www.khmertimeskh.com/501308691/cambodia-japan-bilateral-trade-nears-700-million-in-the-first-five-months/>

2023年の日本とカンボジアの二国間貿易額は、5月で合計6億9900万ドル以上にのぼりました。2022年の同時期と比較して10.2%減少しましたが、カンボジアの貿易額としては中国、アメリカ、ベトナム、タイに次ぐ5位となります。

2023年6月14日

## カンボジア、退職後の移住先ランキングで3位に



出典：年金生活者のパラダイス、カンボジア  
<https://poste-kh.com/news/2023-06-14-5454>

2022年にカンボジアは、アイルランドの海外移住専門誌「インターナショナル・リビング(International Living)」において「世界で最も優れた退職後の移住先」ランキングで3位を獲得したこともあり、定年退職者の移住先として注目を集め始めています。

カンボジアの家賃はワンルームであれば首都プノンペンでも200ドル前後、地方都市であればさらに半分程度の月100ドルとなっており、2023年6月現在の円建てでは14,000~28,000円と安価です。同国の家賃は平均して米国より60%以上低くなっています。

退職者向けのビザは手続き内容も少なく、現地医療においても日本人医師が務める日本資本の病院があり高度な治療を受けることができるなど日本国内でも注目されることでしょう。

2023年6月14日

## なぜカンボジアなのか？カンボジアの不動産の可能性を解き放つガイド



出典：Why Cambodia 2023 Guide - Unlocking Cambodia's Real Estate Potential  
<https://www.khmertimeskh.com/501306532/why-cambodia-2023-guide-unlocking-cambodias-real-estate-potential/>

Realestate.com.khは、カンボジア投資と不動産の可能性を解き放つことを目的とした「Why Cambodia 2023 Guide」を更新し、無料公開しました（リンク先英語）。<https://www.realestate.com.kh/news/Why-Cambodia-2023-Guide-Unlocking-Cambodia-Real-Estate-Potential/>

Realestate.com.khはカンボジアの大手オンライン不動産・不動産プラットフォームで、ウェブサイトやアプリにおいて不動産検索者や投資家のための使いやすいツールを提供しています。また記事内においてRealestate.com.khは、政府が外国資本を誘致するために実施した施策に注目し、投資家に優しいことや外国為替管理など交えてカンボジアがタイガーエコノミー（アジア圏の先進経済地域）とみなされる理由について論じた上で、不動産にかかる税金、信託の仕組み、土地の価格、土地の権利の種類、その他、詳細な市場分析と最新動向、住宅、商業、工業用不動産への投資機会など、重要な情報についても解説しています。

2023年6月12日

## カンボジア銀行ほか3社、中小企業支援のための基本合意を締結



出典：Maybank, CGCC, BNI and CWEA ink MoU to support SMEs  
<https://www.khmertimeskh.com/501306320/maybank-cgcc-bni-and-cwea-ink-mou-to-support-smes/>

Maybank Cambodia Plc.とCredit Guarantee Corporation of Cambodia (CGCC)は、Business Network International (BNI)およびCambodia Women Enterprise Association (CWEA)と戦略的パートナーシップを締結しました。この基本合意の下、Maybank Cambodia、CGCC、BNI、CWEAは中小企業能力開発プログラム(BCC)を通じて協力し、BNI、CWEAのメンバーやその他の参加中小企業に研修を提供し事業拡大を支援します。

2023年6月6日

## 岸田首相、カンボジアデジタル通貨を称賛



出典：'Bakong' draws praise from Japanese Premier  
<https://www.khmertimeskh.com/501302663/bakong-draws-praise-from-japanese-premier/>

岸田首相は、5月25日に東京で開催された「第28回アジアの未来フォーラム」で講演し、カンボジアのデジタル通貨において革新的なアイデアを取り入れたカンボジア王国と政府を称賛しました。

デジタル通貨"Bakong"は日本企業「ソラミツ株式会社」によるシステムで、ビットコイン等仮想通貨に使用される情報通信技術「ブロックチェーン」が用いられています。この技術により、データの改ざんが困難になり、正常な動作が行われなくても適切な取引がなされるほか、データアクセスの利便性が向上するなどの利点があります。

2023年05月29日

## 日本、カンボジア国政選挙情勢に言及



出典：Japan weighs in on Cambodia's National Election situation  
<https://www.khmertimeskh.com/1298081/japan-weighs-in-on-cambodias-national-election-situation/>

日本政府は、7月23日に実施される国民選挙に懸念を表明し、カンボジア国民が多様な意見を表明できる環境を整備するよう、欧米諸国とともに促しました。

日本は5月初め、選挙監視組織であるカンボジア自由公正選挙委員会（COMFREL）に対し、次期国政選挙を支援するため、約6万ドル相当の援助を提供すると発表しています。

米務省は「我々はカンボジア当局に対し、国民がカンボジア憲法に合致した公正な多党制民主主義に参加し、報復を恐れることなく結社、平和的集会、表現の自由を含む人権を自由に行使できるよう、方針を転換するよう強く求める」と述べました。

さらに、欧州連合（EU）は、主要野党が投票に登録できなかったことを「総選挙で政党が競争する余地が縮小していることを示す、もうひとつの憂慮すべき兆候」とみなしています。

2023年05月25日

## 日本とカンボジアのデジタル製造センター開設、工作機械の人材を教育



出典：Kingdom sees ASEAN Trade in Services Agreement benefits  
<https://www.khmertimeskh.com/501297466/cambodia-japan-digitalised-manufacturing-centre-online/>

カンボジア王立プノンペン大学（RUPP）内に設置されたカンボジア・日本デジタルものづくりセンター（CJDM）が、カンボジアの人材育成、特に第4次産業革命の下での人材育成を支援するため、正式に使用されることになりました。CJDMは、カンボジアの日本の工場や企業、また輸出のため工作機械の動作をコンピュータで自動化するコンピュータ数値制御（CNC）を推進する上で重要な役割を果たすこととなります。

**株式会社GCCジャパン**  
**〒107-0062 東京都港区南青山2-23-8**  
**外苑ビル8階**  
**TEL:03-5927-1882**  
**E-mail: [central@gccjapan.co.jp](mailto:central@gccjapan.co.jp)**



**GOLDEN CAMBODIA CENTURY**